

ふるさとのみなさんへ

東都高原富士見会だより

「ふるさとへの思い」

昨年のユーキャン新語・流行語大賞は、日本の女子カーリングチームが2018平昌冬季オリンピックの試合中に発していた「そだねー」に決定しました。

5人の選手全員が北海道の北見市出身。どの選手も一度は地元を離れたものの最終的には地元に戻り、オリンピック選手を目指しました。

彼女たちは「ふるさとに育ててもらった」「ふるさとに恩返しをしたい」と常に思っていたと口にしていきます。幼い頃、長い時間を過ごした場所というのは大事ですね。

私は、故郷を離れてから40年近く東京で暮らしており、何でも揃っている東京を心地良いと思っていますが、ふるさとで過ごした光景や思い出たちは、いつも心の片隅で強く主張し続けています。

さて、皆さんは町民センター横にある記念碑をご存知ですか？この記念碑の裏には、東都高原富士見会の「ふるさとへの思い」が刻まれています。

当会は発足から63年が経ちます。「ふるさとに恩返しをしたい」という思いは世代を超えても変わらないのだと感じています。

(文責：池田みかほ)

「わが東都高原富士見会は、昭和30年富士見町々制施行に呼応して東都在住の富士見町出身者を以って結成されたもので常に郷町と関係を保ちつつ発展を続けているのであります。この度私どもは明治百年記念植樹を以て富士見町の駅と公民館とを飾ることにしました。今後毎春絢爛と咲き出る躑躅は郷土と本会との温かい握手となって永遠にその誇り高い香気を放ち続けることでありましょう。」

昭和43年10月3日 植樹委員長
医学博士 雨宮 白



▲東都高原富士見会「明治百年記念植樹之碑」は町民センター横にあります。

まちの「話題」や「イベント」をご紹介します

News Fujimi



◆1月20日(日) 富士見太鼓
新年打初め公演

富士見グリーンカルチャーセンターで富士見太鼓の打初め公演が行われました。

会場の外まで力強い太鼓の音が響き、新たな年の幕開けを感じさせました。



◆1月26日(土) 富士見町
地元企業研究セミナー

首都圏の学生を対象に地元の企業や事業所の魅力を紹介するセミナーを東京都の「銀座NAGANO」で初めて開催しました。

当日は多くの来場者が様々な企業の説明に意欲的に耳を傾けていました。



◆2月4日(月) 生物多様性保全
パートナーシップ協定締結

町内に自生するアツモリソウの保存再生活動について、県、町、町アツモリソウ再生会議、(株)ニチレイが、パートナーシップ協定を結びました。

今後もより一層の連携のもと、活動を進めていきます。



◆2月16日(土)
有害鳥獣一斉駆除 出陣式

20人を超える町猟友会の皆さんのご協力のもと、銃器による有害鳥獣の一斉駆除が始まります。

山林に立ち入る際は目立つ服装を心掛けるなど、注意をお願いします。